

家庭学習のすすめ

南行徳中ブロック

(南行徳小・富美浜小・新井小・南行徳中)

～小学校版～



・・・保護者・先生は子どものサポーター・・・

<家庭学習のすすめ方>

- ① 担任から出る「宿題」を最初にやるようにしましょう。
- ② 時間が余ったら、宿題以外の学習に取り組みましょう。
(家庭で約束したもの、「こんなことを…」の中から選んだもの、自分で考えたもの)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも構いませんので、必ず毎日机に向かうようにしましょう。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

<担任(学校)と連絡を取りましょう>

- ① いろいろな点で個人差があるのが当たり前です。わからないこと・困ったことなどは、小さなことでも相談してください。より良い学習の方法を一緒に考えましょう。
- ② 家庭で頑張っていることなども、どしどし担任に教えてください。
- ③ 家庭と担任(学校)が連携していくことで、子どもたちの良さをさらに伸ばしていきましょう。

※この「家庭学習のすすめ」を、家庭でもどんどん活用しましょう。

令和2年度作成

低学年(1・2年)基本的な学習習慣を身につけよう

低学年(1・2年)では…

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着には欠かせません。家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

☆ポイント☆

① 子どもの学習に関心を！

「家でも勉強するんだ」という習慣をつけましょう。

- ・少ない時間でもいっしょにやってみましょう
- ・いっしょにできないときは、あとで目を通して声をかけましょう。

② 学習環境を整えよう！

学習机やテーブルなど「いつも決まった場所」をつくりましょう。

- ・テレビは消します。せめて音量を下げるように家族が協力しましょう。
- ・子どものやる気につながります。

③ 家庭と学校との協力を！

学校からの連絡や、お便りをいっしょに確かめましょう。

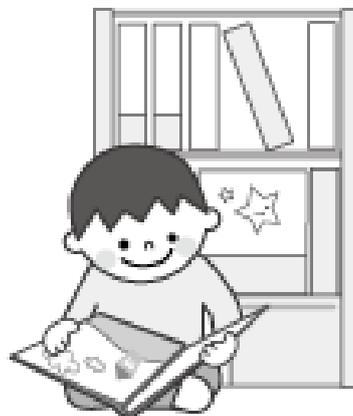
- ・毎日連絡帳を開いてサインをしてください。子どもも担任も安心します。

家庭学習のめやす

10～20分

こんなことをしてみよう！

- 日記1～2行
- 計算
- しりとり(ノートに)
- 音読
- 本読み
- カタカナひらがな
- 家の手伝い



中学年(3・4年)自主的な学習習慣を身につけよう

中学年(3・4年)では…

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになると言われています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

☆ポイント☆

① 子どもの学習に関心を！

頑張りを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。

- ・わからないところはいっしょに考えてみましょう。
- ・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。

② 学習環境を整えよう！

学習を始める時間をいっしょに決めましょう。

- ・テレビやゲームは家族で話し合って時間を決めましょう。

③ 家庭と学校との協力を！

学校からお便りを家族に手渡す習慣をつけましょう。

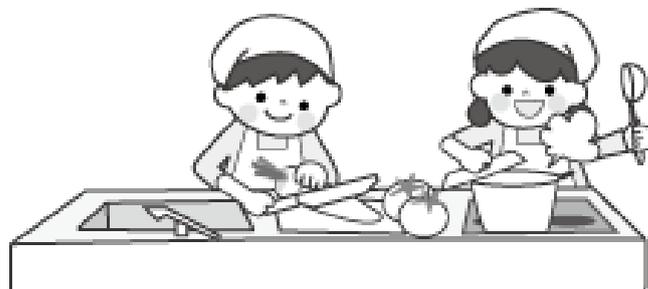
- ・置く場所を決める、食事のときに渡すなど約束を決めましょう。

家庭学習のめやす

30～40分

こんなことをしてみよう！

- 計算
- 漢字ドリル
- 視写
- 音読
- 日記
- 地図写し
- 家の手伝い



高学年(5・6年)自学自習の学習習慣を身につけよう

高学年(5・6年)では…

生活リズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

☆ポイント☆

① 子どもの学習に関心を!

計画を立てて、自力で学習を進めるように見守りましょう。

- ・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。
- ・よその子と比べないで、昨日のわが子と比べてほめましょう。

家庭学習のめやす

50～60分

② 学習環境を整えよう!

自分に合った生活リズムをつくりましょう。

- ・夕食前、早朝など、学習に取り組む時間帯を決めましょう。

③ 家庭と学校との協力を!

思春期を迎え、悩みも増えます。心配なことがあったら、担任の先生に相談しましょう。

- ・家庭でも学校でも、子どもの話をよく聞きましょう。

こんなことをしてみよう!

- 漢字計算
- 視写
- 音読
- 短作文
- 家庭 家の手伝い

